



拜殿に掲額の北村西望先生の揮毫（宮浦一郎氏寄贈）

社報
あそみや

平成2年1月1日
創刊号
発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋名862
TEL 0957-43-5235

◆阿蘇神社略記◆

御祭神 健磐龍命

神武天皇の皇孫子であり
神八井耳命の皇子

由緒 当社は、天文三年仲秋（西暦一五三四）九月、当地を管領していた諫早の領主、西郷石見守が熊本の阿蘇一ノ宮の御本社より御分霊を戴き、当初は宮処を木床名に選び社殿を造営したが、その後九十有余年を経て、現在の地に遷されたと伝えられる。

昭和五十九年秋に、氏子よりのご浄財で現在の御社殿が完成し、御鎮座四百五十年祭を斎行した。

熊本阿蘇には、湖水の主であった鯰を祀っており、阿蘇住民には鯰を食べない風習がある。当社にも最近まで鯰池があったが、国道拡幅に協力して廃池した。そして喜々津の人も同じように鯰を食べない風習を残している。

ごあいさつ

阿蘇神社

宮司 大島 大明



平成二年の輝かしい新春を迎え、謹んで皇室の御繁栄を言壽ぎ奉り、併せて氏子崇敬者のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。

月日の流れは早いもので、阿蘇神社に奉職致しましてより、二度目の正月を迎えることとなりました。着任以来、皆様より賜りましたご厚情に心より感謝いたし、すと共に、本年も宜しくお願いを申し上げます。

昭和六十四年の新年早々、昭和天皇が国民の願いも空しく崩御され、深い悲しみのうちにも、新帝陛下のご即位、そして年号も昭和より平成と替わりました。

本年一月七日、今上陛下には諒

敬神生活の綱領

- 一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、
- 一、世のため人のために奉仕し、
- 一、大御心をいだきてむつび和らぎ、
- 一、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
- 一、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

闇（一艘での喪）の期間が終了、そして秋には、御大典が行われ、今年が真の平成時代の幕開けと成ることでしょう。

私たち神主には、日頃の神明奉仕の精神と実践の規範とする綱領があります。『敬神生活の綱領』と申しますが、この綱領を心に刻んで、毎日の神明奉仕をいたしております。遠い祖先より受け継がれている、日本の素晴らしい国柄を正しく後世に伝えるため、日常の生活態度は、如何にあるべきかを示している綱領であります。神主のみならず、皆様方にも通じる綱領であり、実践することにより、明日が変わることでしょう。

ご挨拶

阿蘇神社総代会長 北島 勇夫



新年明けましておめでとうございます。輝かしい初春を迎えるに当たり、聖寿の弥栄と氏子の皆様のご多幸とを祈念申し上げます。

さて、氏子の皆様には例年、地区の評議員様を通じて、氏子奉賽金・神宮大麻・阿蘇神社相撲大会寄付金など、お願いを申し上げておりますが、皆様には格別のご理解・ご支援を賜わっております。更に昨年は、伊勢神宮の式年遷宮奉賛金の募金も加わりましたがこれに対しても多額のご協力をいただきました。総代会長として心より厚くお礼申し上げます。有難うございました。

阿蘇神社は歴史的にも由緒ある神社であります。遠い祖先より伝えられている神社と神社の行事を、後世に伝えるためには、多額の維持管理費を必要と致します。今後とも皆様方のご理解とお力添えを、切にお願い申し上げます。
一昨年九月より、宮司として大

島大明氏を迎え、社務所に在住致させております。宮司は未だ若年でありますが、神社の事には、すばらしいほどの情熱を持って取り組んでおります。氏子の皆様には、温かくそして、末永く見守っていただき、また時には叱咤激励していただきたいと思います。

本年秋には、今上陛下の御大典が行われます。昭和の「御大典」を記憶する人も少なくなっており、また最近の情勢を見ると、平成の「御大典」が、先例の通り行われることには、無理があるように思われます。然し乍ら、国民の象徴である天皇陛下の、最大の重儀であります「御大典」が古来からの伝統に従い、恙なく無事に行われることを祈り、新年の挨拶と致します。



節分豆撒きの行事

歳男・歳女を受付中

神社では、二月三日節分の豆撒き行事に参加する歳男・歳女の申込みを受け付けております。

午(うま)歳生れの方ならどなたでも参加出来ます。希望者は左記の要領により神社までお申込み下さい。



記

- 一、日時 二月三日節分 夕方
- 一、詳細は後日各自へ直接通知
- 一、定員 大人 十五名
子供 九名
- 一、いずれも男女不問
- 一、住所・氏名・生年月日を明記して神社まで申込み下さい。
(電話でも可)
- 一、参加料 大人 八、〇〇〇円
子供 五、〇〇〇円
- 一、豆撒き 三組に分け行いますので、親子・友達で一緒の組を希望する方はその旨を申し出て下さい。

謹賀新年

皆様方のご多幸を祈念致します

総代会長	北島 勇夫
副会長	山口 充喜
総代	森 肇
“	大庭 英雄
“	峰 良一
“	坂田 栄治
“	松山 万蔵
“	笹野 末吉
“	松永 里見
監事	平野 豊明

ご寄贈のお礼

昨年中神社にご寄贈賜りました皆様にお礼を申し上げます。

- ◎御本殿翠簾一垂
- 市布名 古沢 妙心 殿
- ◎ベンチ一脚
- 十八銀行多良見町支店 殿
- ◎境内用ゴミ籠一箇
- 有田工業株式会社 殿
- ◎その他、毎月境内の清掃奉仕をなされています、多良見町ライオンズクラブの皆さん、阿蘇区老人会の皆さん、遺族会の皆さんに心より感謝し、お礼を申し上げます。又、境内トイレに紙を置いて下さる方にもお礼を申し上げます。

氏神さまと私たち

人生儀礼①

私たちは、この世に生を受けてより、両親を始め、ありとあらゆる人、天地自然の恵を受けて生きて行きます。常に感謝の心を忘れず、人生の節目には氏神様に参拝いたしましょう。

(年齢は数え年)

一、厄除

長い人生の中には、様々な事があります。私たちの遠い祖先たちの経験にてらして「厄歳」といって、特に気をつけなければならぬ年回りがあります。

一般に男性は、二十五歳才、四十二歳、女性は十九歳、三十三歳、



を「厄歳」と云います。この中でも男の四十二歳、女の三十三歳は「大厄」として万事慎むがよいとされておられ、その年の節分までに神社に参り祈願を済ませます。

長崎県では、男女の「大厄」を「厄入」と云い、その翌年を「厄払」

(または厄晴)と云います。「厄入」とは、一年間を無事過ごせるように神様に祈願をし、「厄払」は恙なく厄歳を過ごせたことを神さまへ報告する、お礼のお参りです。

ただ、男はいつの頃からか四十一歳で「厄入」し、四十二歳で「厄払」となります。いやなことは早く済ませる、と云うことなのでしようか？

これも長崎市の場合になると、男女とも、その年の六月一日から厄入りとなります。いやなことは短く、と云うことなのでしょう。

いずれにしても、この年齢は人生の中で大きな節目とでありますから、謙虚な気持ちで神社にお参りをし、お祓いを受け清々しい気持ちで、生活を送りましょう。

平成二年の 厄歳

厄入 男 昭和二十五年 生

女 昭和三十三年 生

厄払 男 昭和二十四年 生

女 昭和三十二年 生

男 二十五歳 昭和四十一年 生

女 十九歳 昭和四十七年 生

一、算賀の祝

厄歳の反対に、一定の年齢になるとこれを祝う慣わしがあります。「年祝」、「年寿」とも云いますが、人生の幾多の波路をはるかに越えてきたことを祝うものです。

六十一歳 十干十二支が自分の生れた干支に立ち還るので、還暦と云います。

七十歳 中国の詩人杜甫の詩にある、「人生七十古来稀なり」からとって、古稀と云います。

七十七歳 喜の字を草書体で書くことと七十七に似ていることより喜寿と云います。

八十八歳 米の字は八十八と書くところから米寿と云います。

九十九歳 百から一をとると白と云う字になります。このことから九十九歳を白寿と云います。

これらの歳には、無事に人生を送れた事を神様に感謝し、報告をいたしましょう。ご家庭のご祖先(仏さま)にも感謝と報告を忘れてはいけません。

神社では年祝の祈願祭を行って参ります。ご家族お揃いで参拝し、お祝いをいたしましょう。



一年の計は元旦にあり

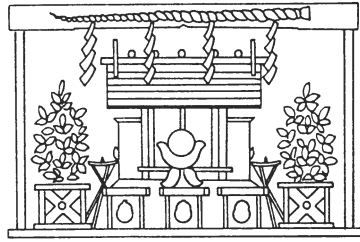
今年一年間の家内安全、商売繁盛交通安全、社運隆昌など、家族揃って、また社員お揃いでお参り下さい。

お祓いをお受けになる場合は、事前に社務所まで連絡をお願いいたします。

電話 四二一五 三三五番

神棚をお祀りしましょう!!

日本の家庭には、昔から神様をお祀りする神棚と祖先をお祀りする御霊舎や仏壇があり、毎朝夕、感謝のお祈りをささげて、和やかな明るい毎日の生活を送って参りました。



神棚のまつり方

庭の心の拠り所として神棚を設け、氏神様とともに神宮大麻をお祀りいたしますよう。

◆神棚の位置

神棚は、家庭の中心となる部屋で、明るく清浄な高い処に設けます。向きは、南か東の方を向くようにいたしますよう。(神棚がない家庭では、当分の間、戸棚などの上を仮りの神棚としてお祀りしても差し支えありません。)

◆お神札の祀り方

神棚のお社は、扉が一つのもの(一社造り)と、扉が三つのもの(三社造り)とがあります。

一社造りの場合は、一番手前に神宮大麻、次に氏神様のお神札、奥にその他の崇敬する神社のお神札を納めます。三社造りの場合は、中央に神宮大麻、向かって右に氏神様、左に崇敬する神社のお神札を納めます。

神棚の祀り方など、不明な事がありましたら、遠慮なく神社までお尋ね下さい。

御大典について

御大典とは、「即位の礼」、「大嘗祭」、「大饗」の三つの行事を云います。新しい天皇が皇位を継承されたことを国民及び諸外国に対して宣言して、名実ともに真の天皇と成る儀式であります。

昭和天皇の諒闇(一般の喪)の明けた今年の秋「御大典」が行われます。国民挙って国旗を掲げてお祝いを致しましょう。

諒闇の明けの一月七日、八日に神社では、左記の通り昭和天皇を偲び、『一年祭遥拝式』と『臨時大祓式』を斎行致します。ご家族お揃いで多数ご参列賜われますようご案内致します。

記

遥拝式 一月七日 午前十時
大祓式 一月八日 午後三時

いずれも神社境内で斎行

祝祭日には

国旗を掲げましょう

神社では、国旗の幹旋、頒布を行っております。

三段式 一、〇〇〇円(ビニール袋入)
一、三〇〇円(紙箱入)

第六十二回神宮式年遷宮は 平成五年の秋に斎行されます

昨年は、神宮式年遷宮の募金をお願い致しましたところ、氏子各位のご理解とご賛同を賜わり、多額のご浄財が集まりました。早速、神宮にご奉納致しました。ご協力頂きました皆様方に厚くお礼申し上げます。

昨年十一月に宇治橋の渡り初め式も、恙なく斎行されました。今後の遷宮関係の主要行事は左の通り予定されております。

平成四年三月 立柱祭
上棟祭
お白石持行事
遷御
平成五年八月
平成五年十月

編集後記

念願であった社報を創刊することが出来ました。皆様のご指導を頂きながら、充実した社報にしたいと思っております。ご意見ご感想を是非お寄せ下さい。

寒さ厳しき折柄、皆様にはご自愛専一にお過ごし下さい。

